

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣西高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年10月28日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 大垣西高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	木村 幸雄	大垣市静里地区連合自治会長
副会長	杉原 茂男	中部学院大学特命学長補佐兼入試広報部長兼特任教授
委 員	安藤 成実	あおいこども園 主幹保育教諭
	高井 良博	日本耐酸塩工業株式会社 総務部 部長
	小林 清秀	朝日電気株式会社 代表取締役
	清水 理加	地域住民代表
	石川 与弘	本校育友会会長

学 校 側	秋場 毅	校長
	立川 喜教	教頭
	新沢 英俊	事務長
	小谷 和也	教務部長
	浅野 泰秀	進路指導部長
	武田 峰治	生徒指導部長
	水上 尊雄	特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校長より 現状の報告と来年度の構想
- (2) 学校祭や生徒の様子について

意見1: 校訓「至誠一貫」を理解しているかどうか重要で、職員にもしっかり勉強してもらいたい。本校で何を学ぶのが大事で、他の学校と同じではだめである。至誠一貫を学ぶために本校に入学してきたんだ、という気持ちで進めるのは1つの方向性でよいと思う。相手のことが分かるには、あらゆることを学んでいないといけないので、文理融合クラスはそういう環境になると思う。校長の考えを職員が具現化して、生徒のことをよく理解してくれる魅力ある職員になってほしい。

意見 2 : 校長が本校を変えようとする考えを聞いて、やってみなければ分からないし、前例踏襲が必ずしも良いとは限らず、よりよくするために変えようとするのは大事だが、変えてみた結果を検証して、それが正解だったのか、それとも改善する点があるのかを常に見ていく必要がある。生徒にとっては1度かぎりの高校生活なので、よりよいものになるように努めてもらいたい。

意見 3 : 職員が1つ1つに意識をしないと指導につながらない。それぞれに意味があることを思いながら、これからも頑張ってもらいたい。文化祭ではクラスが一つになり、いい思い出になると思うので、これらも続けてほしい。文理融合クラスについて大賛成である。自分が高校生時は文系理系別のクラスだったため、全く交流がなかった。文理融合クラスだと、いい意味で化学変化が起きそうで、大変よい刺激になると思う。

意見 4 : 1年生の段階で少人数授業を行い、基礎基本を徹底させることは大事である。生徒に寄り添った指導ができるので、生徒の意見をしっかりと聞くことができる。文理融合も大切な考えである。校長の考えを理解した上での職員の一人一人の姿勢が大切だと思う。毎朝、サッカー部や野球部の生徒の活気のある声が聞こえるのが素晴らしい。部活動で培う力もあるので、頑張ってもらいたい。生徒・職員・保護者がみんなで作り上げる文化祭にしてほしい。

意見 5 : 文化祭には育友会も参加させてもらい、生徒とのコミュニケーションがとれるような取組みも行った。保護者からは日頃はなかなかできない、生徒とのコミュニケーションがとれてよかったという感想があった。校長の考えを聞いて、生徒数の減少、職員の負担など考えると文理融合クラスもいろんな見方、考え方を知るのによい環境になると思う。また、生徒は何を学習すればよいか分からないこともあるので、毎日30分や1時間の積み重ねが3年生の受験に活かされるような仕組みを作ってもらいたい。

意見 6 : 文化祭が職員の不足、駐車場の問題などで非公開になっているのは分かったが、保護者として我が子の活躍や他の生徒の様子を見る絶好の機会だと思う。育友会の方々と協力して、公開することも検討してはいかがだろうか。

意見 7 : 校長から学校案内の「生徒の手によるデザインの更新予定」を聞き、生徒はものすごいエネルギーをもっていると思うので、ぜひ実行してほしい。また、校長の熱い思いを生徒や職員伝えて、本校を変えていってもらいたい。生徒の伸びしろを信じることは大事だと思う。学校を変えることですぐには結果が出ないので、次の校長にも引き継いでほしい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、4月から10月までの学校の様子、文化祭の取組み、生徒のボランティア活動への参加、そして校長からの来年度の構想を共有し、委員から激励の言葉やご意見や提案をいただいた。今後も、魅力ある学校づくりについて検討していくことを確認した。